

# 平成 27 年度 事業報告



## 千葉科学大学

「健康で安全・安心な社会」の構築に貢献できる人材の養成を行う



- 1、大学の外部評価を受けるために、平成 28 年度に自己点検評価を行い、その報告書を作成する。これに必要な事務体勢を作り、教職員の認識向上に努めた。
- 2、「銚子学」という新しい選択科目を開講し、講師陣に地域の専門家を加えて、これによって地域へ対する理解と地域との連帯感が深まった。
- 3、市を中心とした地域創世計画に積極的に関与し、本学として実行可能な寄与をした。

千葉科学大学 学長 赤木 靖春

### 教育の充実

#### ■地域志向科目の新規開講

銚子地域を学習する授業として、選択科目「銚子学」の講義を始めました。今後、全学部必修化をめざします。

#### ■日本語補習講座の開講

外国人留学生を対象に日本語能力検定 2 級合格を目標とした補習講座を開講しました。

#### ■FD活動の推進

学生による授業評価アンケート、教員対象のFD講演会、教員相互に行う公開授業およびFD活動に関する意見交換会などを実施、FD活動を推進しました。

#### ■大学間連携共同教育推進事業

本学と千葉大学及び城西国際大学による、5 個のプログラムにおける Eラーニング及び演習を実施し、各大学にて受講修了学生による成果発表会を開催しました。

#### ■社会人大学院サテライト教室（東京）

社会人の学び直しに 대응するため、在職のままで学位取得の可能な「大学院危機管理学研究科サテライト教室」において、危機管理学に関しワン・ストップで総合的に学び、修士、博士の学位が取得できる大学院教育を推進します。今年度は、3名の社会人が受講しました。

## 学生支援

### ■進路支援

学生に対する就職支援、キャリア支援、各種資格取得支援、就職先企業の開拓などをおこなっています。特に、地元出身学生の増加に合わせて、地元および周辺地域企業に重点を置いて開拓を行いました。

### ■就職支援

3年次生を対象に、就職活動を進める上で必要なテーマを取り上げる就職ガイダンスや、様々な業界を知る業界セミナーを学内で開催します。また、3年次生（薬学科は5年次生）全員との個人面談を実施し、個別指導を行いました。

### ■インターンシップ

企業等に学生を派遣するインターンシップに取り組み、夏期に1～2週間の就業体験を実施しました。

### ■合同業界研究会

各事業所の担当者と本学学生がブース別に面談しそれぞれの事業所の仕事内容についての説明会を学内で開催しました。

### ■キャリア支援

キャリア支援科目にスタッフを派遣し自己理解やコミュニケーションの重要性などを学生に伝えました。

### ■公務員試験対策

2月から3月にかけて公務員採用試験の筆記対策として基礎講座（主に1・2年次対象）、実践講座（3年次対象）を開講しました。また、学内にて面接対策セミナーを実施しました。

業者主催公務員模擬試験を学内で実施しました。

### ■就職先企業開拓

様々な業種の企業を新たに訪問し、就職先の開拓

を行いました。特に銚子市周辺の地元企業の開拓に努めました。また、加計グループ5大学1短大共催の企業懇談会（東京、大阪、広島）を開催しました。

### ■各種資格取得支援

防災士、危険物取扱者などの試験対策講座を開講し、資格取得試験を学内で実施しました。

### ■生活支援

新入生・在学生オリエンテーションや各種奨学金の説明会・アパートの紹介など学生の日々の生活に関連する諸々の支援の充実に努めました。

### ■留学生支援

新入生オリエンテーションから日本語や日本の文化に慣れるように在学留学生の協力を得て新入生への指導を行いました。

- ・BBQ 留学生との交流会 6月6日 38名参加
- ・一日研修旅行 11月23日 34名参加
- ・加計杯日本語弁論大会 11月20、21日  
3名出場中1名最優秀賞受賞・最優秀校受賞

### ■学生図書委員会制度の運営

平成25年度より学生図書委員会制度を設立し、学生からの要望を取り入れ、学生目線にたった図書館運営を行いました。

## 社会連携・社会貢献

### ■地（知）の拠点整備事業

「防災・郷土教育を積み上げた、人に優しく安心して住める地域創り」は本学による地域社会貢献事業です。平成26年度、文部科学省「地（知）の拠点整備事業（COC）」に採択されました。地域活性化の中核を担う大学として、地域の活性化のために人材の育成に取り組みました。

### ■C I Sフォーラム

有識者による講演会、ポスター発表件数は31件となり内訳は、関連大学(4件)、地域企業(3件)、本

学(24件)で最新の研究成果やシーズを紹介しました。  
来場者数は183名となりました。

### ■ボランティア活動

社会に貢献しながら学ぶ体制を確立するために、  
学生団体や一般学生にボランティアや地域貢献に関  
する情報を流し参加する仕組みを整備し、ボランテ  
ィア活動を実施しました。

9月 東北地方復興支援ボランティア 11名派遣  
10月 常総市へ災害ボランティア 18名派遣

### ■銚子ジオパーク

銚子ジオパークとして認定を受けた屏風ヶ浦の地  
層犬吠埼の浅海堆積物などを観光資源として活用し  
地域住民の郷土愛の育成等を通して地元の小中学  
生・高校生に地元の地質資源の理解及び普及活動  
を行い「地育地就」にも貢献しました。

### ■図書館の地域市民への開放

開学以来、図書館を地域、市民の皆様開放して  
います。昨年度より図書館報を発刊し、図書館資料  
を活用した市民公開講座の開催により、市民との連  
携強化に努めました。

### ■市民公開講座の開催

平成24年・25年・26年に引き続き、市民公  
開講座を年6回開催していきます。第1回(科学実  
験)91名参加、第2回(看護の科学)97名参加、  
第3回(健康の科学)105名参加、第4回(環境  
の科学)75名参加、第5回(防災の科学)81名、  
第6回(医薬の科学)80名となりました。内、修  
了証交付者が32名となりました。

### ■教員免許状更新講習の実施

地域からの要望もあり、昨年に引き続き教員免許  
状更新講習を実施しました。

### ■日本語能力検定試験

本学が日本語能力検定試験会場となりました。

### ■教育提携校締結の拡大と関係強化

今年度は協定を締結した高校との相互関係を一層  
強化できるよう、出張講義、オープンキャンパス参  
加は勿論、学生・生徒の研究発表等の開催や高校教  
員との意見交換会の開催等の働きかけも行いました。

### ■出張講義の拡大と内容の充実

高等学校へのお出張講義の実施回数を増やしてい  
くことに努め、知の拠点としての大学の機能をさら  
に発展させました。

### ■English Camp (高校生対象) 3月

銚子市内にある高等学校に通う生徒を対象に本学  
において2日間の英語セミナー(会話を中心)行  
いました。

## 国際交流

### ■Japan Bowl

4月に米国にて行われるJapan Bowlに出席出来  
ませんでした。

### ■海外からの研修団受入

4月	シンガポール交換留学生 4名参加
6月	Great Falls 研修団(小学校)
	Langley 高等学校研修団
7月	アメリカ・ブラジル研修団 28名参加
	フィンドリー仕事体験生終了
9月	フィンドリー仕事体験生受入
10月	シンガポール・リテクより研修団 13名参加

### ■海外へ研修団派遣

8月	ライト大学へ海外研修団派遣 1名参加
	フィンドリー大学へ海外研修団派遣 1名参加

8月	ブラジル2大学へ海外研修団派遣 1名参加
----	-------------------------

## 教育研究環境

### ■キャンパス美化

学内のキャンパス美化について、①学生・教職員の美化意識の向上②施設のメンテナンスの実施③アウトソーシング部分の見直しと改善案の検討等について中期目標(4年間)に基づき、単年度目標を定め、キャンパス美化について推進しました。

### ■省エネの推進

学内の省エネについて、①省エネに取り組める体制作り②学生・教職員の省エネ意識向上③省エネ器具、設備等の導入推進等中期目標(4年間)に基づき、単年度目標を定め、ポジティブな省エネも取り入れながら推進しました。

### ■全学共通学生情報システム導入

入試広報室と学務部が使用している学生情報管理のシステムが異なっていたため、リアルタイムでの学生情報が全学で共有出来ていなかったため、全学(教職員・事務職員)で情報を共有することが出来る新システムを導入し、11月24日より試験運用開始し、平成28年4月1日より本格稼働する事となりました。

## 学生の受入

### ■入試方法等

センター利用試験入試において(前期)と(後期)の間に(中期)を新たに設け、3科目の試験科目で選抜を行いました。一般入試(センター試験利用入試を含む)より、ネット出願を導入し、出願手続きの簡便さを図りました。

### ■オープンキャンパス

各学部・学科イベントに時間帯に、全体イベント等を極力開催しないようにし、参加者が複数の学科等を訪問しやすいタイムスケジュールとし、盛況感のあるイベントを催し、参加した高校生が、「この大学で、この学科で、この研究室で、こんな勉強をしてみたい」という夢と希望を持つだけでなく、実現に向けた手伝いができるような内容を企画し、より充実させたものを提供しました。

## 内部質保証

### ■FDワーキンググループ

FDワーキンググループは、前期・後期2回の学生による授業評価アンケート、年数回のFD講演会、公開授業および意見交換会などを継続して実施し、学生の満足度を向上させる教育改善をめざしました。

## 主な行事

4月3日	新入生オリエンテーション
4月4日 ～5日	新入生宿泊研修
4月6日	在校生前期オリエンテーション
4月7日	入学宣誓式
5月31日	オープンキャンパス
7月25日 ～26日	オープンキャンパス
7月29日 ～8月8日	前期定期試験
8月1日 ～5日	教員免許状更新講習会
8月29日	オープンキャンパス
9月1日	企業懇談会（鹿島会場）
9月12日	教育進路懇談会（地方）
9月19日	オープンキャンパス
9月24日	後期オリエンテーション
9月26日	教育進路懇談会（本学）
10月24日	C I Sフォーラム
11月21日 ～22日	青澄祭（大学祭）
11月25日	就職懇談会（東京会場）
12月12日 ～13日	合同業界研究会
1月26日 ～2月6日	後期定期試験
3月4日	就職懇談会（広島会場）
3月11日	就職懇談会（大阪会場）
3月25日	学位記授与式

## 学生・教職員数

### ■在籍学生数

(平成27年5月1日現在)

研究科・学部・学科名		入学定員	入学者数			収容定員	在学者数			
			留学生	社会人	留学生		社会人			
大 学 院	薬学研究科（博士一貫）	3	1	0	0	12	3	0	0	
	薬学研究科（博士）	5	1	0	0	15	1	0	0	
	薬学研究科（修士）	10	1	0	0	20	5	1	0	
	危機管理学研究科（博士）	3	0	0	0	9	3	0	3	
	危機管理学研究科（修士）	5	6	0	3	10	12	3	4	
大学院 計		26	9	0	3	66	24	4	7	
学 部	薬 学 部	薬学科（6年制）	120	179	9	1	730	660	25	2
		薬科学科 <small>（募集停止）</small>	—	—	—	—	0	3	0	0
		動物生命薬科学科 <small>（募集停止）</small>	—	—	—	—	0	0	0	0
		生命薬科学科	40	19	0	0	160	90	3	0
	計		160	198	9	1	890	753	28	2
	危 機 管 理 学 部	危機管理システム学科	100	86	5	0	400	358	52	0
		動物・環境システム学科 <small>（募集停止）</small>	—	—	—	—	0	8	0	0
		環境危機管理学科	40	28	0	0	160	109	4	0
		医療危機管理学科	80	96	1	1	320	351	1	1
		工学技術危機管理学科	40	12	0	0	160	33	4	0
		動物危機管理学科	40	36	1	0	160	130	1	0
	計		300	258	7	1	1,200	989	62	1
	学 部 護	看護学科	80	89	0	0	160	185	0	0
計		80	89	0	0	160	185	0	0	
学 部 計		540	545	16	2	2,250	1,927	90	3	
<b>総 合 計</b>		<b>566</b>	<b>554</b>	<b>16</b>	<b>5</b>	<b>2,316</b>	<b>1,951</b>	<b>94</b>	<b>10</b>	
留学生別科		40	18	18	0	40	29	29	0	

(単位：人)

### ■卒業生数等一覧

(平成27年度)

区分	修了者・ 卒業生	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
大学院	8	2	2	100%	0	2	1	2
学部	296	228	217	95%	18	46	21	93

※ 修業年限を超えて在籍している学生数 (平成28年3月31日現在)

(単位：人)

主な就職先	アイングループ、ウエルシアホールディングス、クオール㈱、日本調剤㈱、戸田中央医科グループ、上尾中央総合病院、千葉市病院局、旭市役所、神栖市役所、横浜市消防局、仙台市消防局、千葉市消防局、警視庁、千葉県警察本部、埼玉県警察本部、海上保安庁、茨城県教育委員会、国土防災技術㈱、日本郵便㈱、銚子商工信用組合、水ing㈱、㈱三栄コーポレーション、鴻池運輸㈱、㈱ビー・エム・エル 他
-------	--

### ■教職員数

(平成27年5月1日現在)

学長	学長代理	副学長	教授※	准教授	講師	助教	助手	別科講師	教員 計	事務職員
1	1	2	67	20	20	12	2	1	126	53

※大学院教授1名含む

(単位：人)

## 財務関係

### ■事業活動収支

(単位：千円)

年度		27年度	前年度
科目		決算額	決算額(※1)
教育活動収支	収入		
	学生生徒等納付金収入	3,110,064	2,861,586
	経常費等補助金	352,671	789,179
	その他収入	192,753	204,942
	計	3,655,488	3,855,707
支出	人件費	2,268,330	2,053,687
	教育研究経費	1,343,844	1,493,495
	管理経費	409,061	454,822
	その他支出(※2)	1,335	7,710
	計	4,022,570	4,009,714
教育活動収支差額		-367,082	-154,006
教活外	収入		
	受取利息等	86	*
	支借入金利息等	5,307	*
教育活動外収支差額		-5,221	*
経常収支差額		-372,303	-154,006
特別	収入		
	資産売却差額等	4,606	*
	資産処分差額等	55	*
特別収支差額		4,552	*
基本金組入前収支差額		-367,752	-154,006
基本金組入額合計		-69,394	-33,433
当年度収支差額		-437,146	-187,439

※1 前年度決算額は、新会計基準の該当科目に反映させた

※2 \* 「教育活動収支」の「その他収入・支出」に含めた

### ■施設設備

(単位：千円)

事業名	金額
図書館増築工事(建設仮勘定)	1,404
全学共通学生情報システム導入	40,176
証明書自動発行機購入	7,722
薬学部研究用機器購入 (ゼータ電位、粒径、分子量測定システム一式)	12,636
看護学部看護学科図書購入(創設費)	2,200